



くにたち市議会だより



令和2年(2020) 11月5日 No.254

第3回定例会

発行: 国立市議会 編集: 広報委員会
〒186-8501 東京都国立市富士見台2-47-1
Tel: 042-576-2111(代) Fax: 042-576-2205
https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/gikai/



小学5年生 谷保の田んぼで稲刈り
- 10月16日(金)稲作体験学習会 -

第4回定例会開会中

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|------------------|----------------------------|------------------|------------------|----------|----|
| 10/25 | 26 議会運営委員会 | 27 | 28 | 29 本会議初日 | 30 | 31 |
| 11/1 | 2 本会議 一般質問 | 3 (文化の日) | 4 本会議 一般質問 | 5 本会議 一般質問 | 6 本会議 | 7 |
| 8 | 9 | 10 総務文教委員会 最終日手話通訳締切 | 11 建設環境委員会 | 12 福祉保険委員会 | 13 | 14 |
| 15 | 16 議会運営委員会 | 17 | 18 本会議最終日 | 19 | 20 | 21 |

開会時刻 本会議・委員会ともに、午前10時開会の予定です。

手話通訳申込の締切 本会議最終日の締切：11月10日(火)
※国立市議会では本会議の初日と最終日に、手話通訳者を配置しております。最終日に手話通訳を希望される方は、右QRコードより、議会ウェブサイト「令和2年第4回定例会の手話通訳の申し込みについて」をご覧ください。



! 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点等から、日程などが変更になる場合がありますので、ご理解、ご協力をお願いします。なお、変更になった場合は国立市議会ホームページでお知らせいたしますのでご確認ください。

今号のトピックス

第58号議案▶▶▶3面に結果
国立市森林環境基金条例案が全会一致で可決されました

第60号議案▶▶▶3面に結果
未婚のひとり親に対する税制措置および寡婦(夫)控除の見直しを含む、国立市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案が全会一致で可決されました

第69号議案▶▶▶2面に詳細
■新型コロナウイルス感染症対策基金積立金 ■医療機関等感染症対策支援給付金 ■住居確保給付金 ■子どもの居場所づくり事業補助金事業 ■里帰り出産等予防接種費用助成費 ■防災無線を受信するためのアンテナ設置委託料 ■小中学校における学習指導サポーター報酬 ■債務負担行為補正(追加)学校給食センター整備運営事業等を含む、令和2年度国立市一般会計補正予算(第7号)案が賛成多数で可決されました

第72号議案▶▶▶3面に結果
市が寄贈を受けた東2丁目の土地財産の無償貸付けについて、全会一致で可決されました

陳情第9号▶▶▶2面に詳細
暗所視支援眼鏡「MW10」の日常生活用具認定に関する陳情が全会一致で採択されました

陳情第10号▶▶▶3面に結果
国や都に対して小中高校等における少人数学級の早期実現の「意見書」提出を求める陳情が賛成多数で採択されました

本会議、常任委員会及び予算・決算特別委員会は、インターネット中継(ライブ・録画)を行っています。どうぞ、ご覧ください。 [国立市議会](#) [中継](#)

この広報紙は再生紙を使用しています



一般会計補正予算(第7号)案が全会一致で可決されました

【主な内容】

- 新型コロナウイルス感染症対策基金積立金
- 住居確保給付金
- 里帰り出産等予防接種費用助成費
- 小中学校における学習指導サポーター報酬

- 医療機関等感染症対策支援給付金
- 子どもの居場所づくり事業補助金事業
- 防災無線を受信するためのアンテナ設置委託料
- 債務負担行為補正(追加)学校給食センター整備運営事業

【第69号議案】 令和2年度国立市一般会計補正予算(第7号)案

【可決】

こんな質疑がありました

総務文教委員会

Q くにたち生活便利帳増刷の要因は。

A 広告収入を見込んだ予算組をしているが、3千600部足りない。

Q 職員のテレワーク用回線使用料とタブレットの購入費は、どのように運用するのか。

A 審議会や各種事業の会議をオンラインでできると考えている。またコロナ禍で在宅勤務の必要性がある。

Q 戸籍住民基本台帳費と個人番号カード交付事務費の内容は。

A 特定給付金の申請対応と、マイナポイント、今後のマイナンバーカードを使った保険証利用等の申請手続きの増加を見据えたもの。国からの補助金で賄う。

Q 防災アンテナ事業の対象者は。

A 浸水想定地域に住む75歳以上のみでお住まいの世帯と、避難行動要支援者の方。270台分。

Q 学習指導サポーターとは。

A 授業中の補助、休み時間や放課後の補習、アルコール消毒作業なども行う。各校の実情に合わせた人員配置をする。

Q 給食センターの債務負担が6億円増だが、今後の増減は。

A 物価変動や税、児童、生徒数の変動により考えられる。

Q ICT端末導入支援員とは。

A GIGAスクールで教員への使い方支援と機械トラブルがあった場合の対応をする。

建設環境委員会

Q 中小事業者にアルコール消毒液を配る事業について問う。

A 感染防止ステッカーを示している70事業者に、3ℓ配付する。

Q 交通安全事業の白線の引き直しの内容は。

A 第三団地北側、団地通りの車道幅が2.3mしかない。立川警察との協議により、3mの確保が必要で路側帯を1.7mから1mに狭める。安全を考え、自転車ナビマークを設置し歩車分離をする。

Q 国立駅周辺整備事業費に測量委託料があるが、時期と対象地は。

A 令和3年3月ごろ測量業務を進める。旧国立駅舎の東西、JRの所有する土地の測量を行う。

福祉保険委員会

Q 住居確保給付金における申請件数増の実態は。

A 相談件数は昨年の3.6倍、申請件数は昨年の18倍だ。

Q 生活困窮者自立支援法の対象がコロナ禍で一時的でも増加した場合の福祉計画はあるのか。

A 計画はないが、コロナ禍の対応と、超高齢社会を迎える中で生活の質を確保しながら住まいを確保する問題の二つの側面を研究していく。

Q 少年育成事業費は、コロナで中止のための減額だが、オンラインなど別の形での実施検討は。

A 当時の状況では、中止にせざるを得ないとの判断のみで、考える余裕がなかった。令和3年はコロナの有無にかかわらず、どんなことができるか考えていく。

Q 認可保育所や私立幼稚園などに給付する10万円は何を想定しているか。

A 消毒液などの消耗品の配付も考えだが、確保が難しいとのこと。現金給付となった。

Q シルバー人材センター作業所解体工事費の概要は。

A 現在、富士見台1丁目にある作業所を谷保に移転する。

Q 子どもの食応援事業補助金の見直しと対策は。

A 子ども食堂の支援を、10月以降も行っていきたい。

こんな討論がありました

総務文教委員会

賛成 新給食センターの事業が、一歩前進する段階で、適切に議会にも説明された。

反対 PFI方式による公共施設の建て替えに反対。

賛成 テレワークの事業費など、職場改善の予算も含まれている。

反対 給食センターの債務負担行為の増額の説明が足りない。

賛成 認めた予算をしっかりと取り組むことを要望する。

賛成 新給食センターが令和5年の2学期に間に合うように望む。

建設環境委員会

賛成 新型コロナウイルスに対応するための大切な補正だ。

賛成 国立駅前のJRとの用地交換のための測量する予算が入り、ようやく事業が前に進む。

賛成 思い出ベンチ事業や、交通安全事業などは急ぎ進めてもらいたい。

反対 他の委員会で認められない項目がある。

福祉保険委員会

賛成 文部科学省の就学前の多様な幼児教育の在り方の実態調査に、国立市のような小さな自治体を選ばれたことを評価する。

賛成 コロナ禍において、新たに行う事業の予算を評価する。

賛成 コロナ禍で大変な実態がわかった。速やかに予算執行していただくことを希望する。

反対 他の委員会で認められない項目がある。

暗所視支援眼鏡「MW10」の日常生活用具認定に関する陳情が全会一致で採択されました

【陳情第9号】 暗所視支援眼鏡「MW10」の日常生活用具認定に関する陳情

【採択】

こんな質疑がありました

Q MW10は、日常生活用具として何に相当するのか。

A MW10そのものを日常生活用具として認める自治体や、拡大読書器の一部として認める自治体もある。

Q 日常生活用具として認められる条件は。

A 用具ごとに適用されるしよがいの条件がある。医師の意見書を求める場合もある。

Q MW10を遮光眼鏡と同じ補装用具として、医療費助成の対象に加えてほしいとの要望か。

A MW10は、カメラで捉えた映像を映し出す映像装置であり、新しい製品である。生活用具認定の要望が出たと解釈する。

Q 新しい道具が出たときの対応は、どのように考えているのか。

A 日常生活用具は、厚生労働省の法令に基づき自治体が決めることになっている。今後は当事者のご意見も勘案し、先進的な製品についても検討していきたい。

Q この製品は日常生活用具の3要件を満たしていると考えるか。

A 他の自治体で日常生活用具として認定されており、3要件を満たす部分があると考える。

Q 網膜色素変性症の方は、市内に何人いるのか。

A 現在22人おられる。

Q 他の自治体では、緑内障は対象となっていない。自治体の判断で対象となり得るのか。

A 国立市では、病名での判断ではなく視覚しよがいの等級としよがいの部位が要件となる。

こんな討論がありました

賛成 日常生活用具は、種目などにより補助割合や補助基準単価が決まる。今後も技術革新により発明されると考える。限られた財源の中で一定の補助基準を設けることが必要。よくご検討いただきたい。

賛成 日常生活用具としての3要件を満たし、国立市内にも網膜色素変性症の方がいらつしやること確認できた。この器具を使い、新たな可能性が生まれ、未来に希望を持つことを願って採択する。

賛成 本製品は、網膜色素変性症の方や緑内障の方の生活の質を向上させる良い装具であると考えられる。暗い場所にも行って楽しむこともできるのではないかと。

賛成 東京都網膜色素変性症協会は、全国組織の公益社団法人である。患者本人や家族、研究者、眼科などが集まり、治療法の確立と生活の質の向上を目指し活動されている。当事者が自分たちの力で治療法を開発し、生活の質を高めていくという障害者権利条約の精神の発露でもある。



▲HOYA MW10 HIKARI

| 令和2年第3回定例会 令和2(2020)年8月26日~9月15日 各会派の議案等への賛否 ○：賛成 ×：反対 | | | | 会派名(人数は議長を除く数) | | | | | | | | | | 議決結果 |
|--|--|--|--|---|----|----|----|----|----|----|----|----|-----------|-------------|
| 議案番号 | 件名 | 概要 | 自3 | 風4 | 共3 | 公3 | 新2 | 立1 | こ1 | み1 | 樹1 | 耕1 | | |
| 予算 | 第69号 | 令和2年度国立市一般会計補正予算(第7号)案 | 【補正額：+3億4,137万9,000円】【補正後総額：408億4,223万8,000円】 【主な内容】新型コロナウイルス感染症対策基金積立金、小中学校トイレ照明人感センサー取付工事等による増額、債務負担行為補正(追加)学校給食センター整備運営事業(限度額約62億8,800万円)等 | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 可決 ○12×8 |
| | 第70号 | 令和2年度国立市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)案 | 【補正額：+2,033万円】【補正後総額：73億4,561万9,000円】 【主な内容】一般被保険者療養費負担金による増額 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第71号 | 令和2年度国立市介護保険特別会計補正予算(第1号)案 | 【補正額：+1億756万3,000円】【補正後総額：60億1,187万8,000円】 【主な内容】介護給付費準備基金積立金、国・都支出金等返納金、一般会計繰出金等による増額 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| 条例 | 第58号 | 国立市森林環境基金条例案 | 木材利用の促進、森林整備に関する普及啓発等の施策に必要な資金に充てるため、国立市森林環境基金を設置する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第59号 | 国立市債権管理条例の一部を改正する条例案 | 地方税法の一部改正等に伴い、規定の整備を行うため、条例の一部を改正する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第60号 | 国立市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案 | 地方税法等の一部改正に伴い、規定の整備を行うため、条例の一部を改正する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第61号 | 国立市手数料徴収条例の一部を改正する条例案 | 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、個人番号の通知カードが廃止されたことに伴い、条例の一部を改正する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第62号 | 国立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案 | 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、規定の整備を行うため、条例の一部を改正する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第63号 | 国立市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案 | 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、規定の整備を行うため、条例の一部を改正する | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○17×3 |
| | 第64号 | 国立市介護保険条例の一部を改正する条例案 | 地方税法の一部改正に伴い、延滞金の割合の特例について規定の整備を行うため、条例の一部を改正する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第65号 | 国立市国民健康保険条例の一部を改正する条例案 | 地方税法の一部改正等に伴い、規定の整理を行うため、条例の一部を改正する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第66号 | 国立市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案 | 地方税法の一部改正に伴い、延滞金の割合の特例について規定の整備を行うため、条例の一部を改正する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第67号 | 国立市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案 | 地方税法の一部改正に伴い、延滞金の割合の特例について規定の整備を行うため、条例の一部を改正する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| 第68号 | 国立都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例案 | 地方税法の一部改正に伴い、延滞金の割合の特例について規定の整備を行うため、条例の一部を改正する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 | |
| 人事 | 第73号 | 国立市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について | 佐藤英明氏【任期 令和2(2020)年10月1日~令和5(2023)年9月30日】 | 無記名投票(投票総数:20票) 同意:20票 不同意:0票 | | | | | | | | | | 同意 |
| その他 | 第56号 | 市道路線の廃止について | 払下げの申請により、一般交通の用に供する必要がない市道路線を廃止し、及び寄附により起点・終点が変わる市道路線を廃止する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第57号 | 市道路線の認定について | 寄附により起点・終点が変わる市道路線を認定する | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第72号 | 財産の無償貸付けについて | 市が寄贈を受けた東2丁目の土地において、小規模多機能型住宅介護事業を展開、運営を行う事業者に対し、当該土地を無償で貸し付けることについて、地方自治法の規定により議決を求める | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 認定第1号 | 令和元年度国立市一般会計歳入歳出決算 | 【歳入:306億7,223万4,237円】 【歳出:303億 545万8,350円】 | 決算特別委員会へ付託し、閉会中の継続審査となりました。 審査日程: 9月28日(月)、9月29日(火)、10月1日(木)、10月2日(金) | | | | | | | | | | 継続審査 |
| | 認定第2号 | 令和元年度国立市国民健康保険特別会計歳入歳出決算 | 【歳入:71億6,182万 73円】 【歳出:71億 692万9,183円】 | | | | | | | | | | | |
| | 認定第3号 | 令和元年度国立市下水道事業特別会計歳入歳出決算 | 【歳入:24億4,712万8,203円】 【歳出:23億9,511万6,529円】 | | | | | | | | | | | |
| 認定第4号 | 令和元年度国立市介護保険特別会計歳入歳出決算 | 【歳入:59億3,225万8,069円】 【歳出:58億2,469万 739円】 | | | | | | | | | | | | |
| 認定第5号 | 令和元年度国立市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 | 【歳入:18億5,183万2,160円】 【歳出:17億8,858万4,141円】 | | | | | | | | | | | | |
| 意見書 | 第4号 | 国勢調査における同居同性カップル数集計公表に関する意見書 | 【提出者:高柳貴美代議員ほか9名】 国においては、国勢調査における同居同性カップル数集計公表に関して、下記事項が確実に実現されるよう強く要望する 1.国勢調査において、長くエラー扱い、あるいは「他の親族との同居世帯」として集計されてきた同居同性カップルを実態どおり集計し、同性カップル世帯数として発表すること 2.男女の内縁・事実婚のカップルと同等に、2人の性別が「同性」、「続き柄」が「世帯主の配偶者」と回答した世帯を、同性カップル世帯として集計し発表すること | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| | 第5号 | 国と都に対して小中学校における少人数学級の早期実現を求める意見書 | 【提出者:藤江竜三議員ほか4名】 コロナ禍における学級内での密の防止のためには、現実的な範囲で少人数学級の早期実現が必要。国と東京都に適切な対応を求める | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○17×3 |
| | 第6号 | 新型コロナウイルス感染症情報の提供・公表及び自治体・医師会PCR検査センターへの財政的支援を求める意見書 | 【提出者:重松朋宏議員ほか2名】(賛成者2名) 東京都及び国に対して、下記の事項について、早急に行うことを強く求める 1.東京都は、保健所を設置していない自治体の住民に対し、個人情報保護やプライバシー保護を遵守しつつ、管轄の保健所ごとに、把握している担当区域の感染者の状況について、保健所設置自治体と同程度の情報を公表すること 2.東京都は、保健所を設置していない自治体の求めに応じて、市町村の感染症対策に必要な感染者情報の共有に努めること 3.感染症に関する各地域での検査体制の整備を担う東京都として、自治体と医師会が連携して設置するPCR検査センターの運営に対する補助を増額すること 4.国は、自治体と医師会が連携して設置するPCR検査センターや医療機関が行う行政検査に対して、自治体の過度な財政負担が生じないように、必要な措置を講ずること | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第7号 | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保及び拡充を求める意見書 | 【提出者:藤田貴裕議員ほか19名】 国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する 1.令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、地方交付税によらない思い切った減収補填措置を講ずること 2.地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること 3.地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること 4.固定資産税については、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。さきの緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること 5.地方法人課税の一部国税化や地方消費税の清算基準の見直し、ふるさと納税等の税制を見直し、地方が担う権限と責任に見合う地方財源の拡充という本質的な問題に取り組むよう求める | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 ○20 |
| 陳情 | 陳情第9号 | 暗所視支援眼鏡「MW10」の日常生活用具認定に関する陳情 | 【陳情者:国立市民】 暗所視支援眼鏡「MW10」を、東京都国立市において、日常生活用具として認めてください | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 採択 ○20 |
| | 陳情第10号 | 国や都に対して小中学校における少人数学級の早期実現の「意見書」提出を求める陳情 | 【陳情者:国立市民ほか9名】 1.未来ある子ども達の健やかな成長を支えるために、国や都に対して、小中学校における少人数学級の早期実現を求める「意見書」を提出してください | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 採択 ○17×3 |
| 会派略称 | | 自=自由民主党(青木健・石井伸之(議長)・高柳貴美代・遠藤直弘) 風=社民・ネット・緑と風(藤田貴裕・古濱薫・重松朋宏・関口博) 共=日本共産党(高原幸雄・住友珠美・柏木洋志) 公=公明党(小口俊明・青木淳子・香西貴弘) 新=新しい議会(藤江竜三・石井めぐみ) 立=立憲民主党(稗田美菜子) こ=こぶしの木(上村和子) み=みらいのくに(望月健一) 樹=樹木の会(石塚陽一) 耕=耕す未来@くになち(小川宏美) | | | | | | | | | | | | |

一般質問とは、議員個人が市政全般について行政当局（市長や教育委員会など）に質問することです。一般質問発言順に、各議員本人が要旨をまとめたものを掲載しています。

行政手続きのデジタル化を進め、市民サービスの向上を！

みらいのくたし 望月健一 議員

- Q 市役所の書類や書面主義・押印原則の見直しに...
A オンライン化の対応...
Q 市役所の申請手続きについて...
A 東京都電子自治体共同...
Q 繰り返し取り上げているRPA...
A 実証実験が可能な事務...
Q 戦争経験者が少なく...
A どのような手法で記録...
Q 永見市政における平和...
A 市長「人権・自由が守...
Q 市役所の申請手続きについて...
A 五小体育館では、収容...
Q ソーシャルディスタンス...
A 小売、飲食店での利用...



景観整備と安心できる住環境 最期まで暮らしを楽しむまち

新しい議会 石井めぐみ 議員

- Q 地域包括ケアを構築する前提として...
A 担当課の職員が各地に...
Q 国立駅南口の景観を守るため...
A 大学通りの商業地域を...
Q 景観整備と安心できる住環境...
A 移動に支援が必要な方...
Q 台風などによる浸水被害...
A 避難所不足の現状では...
Q 西福祉館統廃合...
A 延べ床面積約2割削減...
Q 二小マスタープラン作成...
A 防災面でも、西福祉館...
Q 西福祉館統廃合...
A 延べ床面積約2割削減...
Q 二小マスタープラン作成...
A 防災面でも、西福祉館...
Q 西福祉館統廃合...
A 延べ床面積約2割削減...
Q 二小マスタープラン作成...
A 防災面でも、西福祉館...



コロナ感染症抑止のための施策と市民生活の要望に応え

樹木の会 石塚 陽一 議員

- Q 今年の予算執行の課題...
A コロナウイルス感染症...
Q 個人世帯の生活困窮者...
A 子育て世帯への臨時特別...
Q 個人事業者のコロナ禍...
A 持続化給付金、家賃支...
Q 個人事業者へのプレミアム...
A 小売、飲食店での利用...
Q 市民のPCRの検査受診...
A 現状では、医師か保健...
Q 市立学校給食センター...
A モニタリングを各段階...
Q JR矢川駅南側では防...
A 騒音や環境状況により...
Q 大学通りの自転車レー...
A 劣化のひどい箇所は都...
Q 西福祉館統廃合や国立市地域...
A 合計50着で対応してい...
Q 西福祉館統廃合...
A 延べ床面積約2割削減...
Q 二小マスタープラン作成...
A 防災面でも、西福祉館...
Q 西福祉館統廃合...
A 延べ床面積約2割削減...
Q 二小マスタープラン作成...
A 防災面でも、西福祉館...



西福祉館統廃合や国立市地域医療計画について質問

日本共産党 柏木 洋志 議員

- Q 西福祉館統廃合...
A 延べ床面積約2割削減...
Q 二小マスタープラン作成...
A 防災面でも、西福祉館...
Q 西福祉館統廃合...
A 延べ床面積約2割削減...
Q 二小マスタープラン作成...
A 防災面でも、西福祉館...
Q 西福祉館統廃合...
A 延べ床面積約2割削減...
Q 二小マスタープラン作成...
A 防災面でも、西福祉館...
Q 西福祉館統廃合...
A 延べ床面積約2割削減...
Q 二小マスタープラン作成...
A 防災面でも、西福祉館...
Q 西福祉館統廃合...
A 延べ床面積約2割削減...
Q 二小マスタープラン作成...
A 防災面でも、西福祉館...



永見市長の新型コロナ対応を評価します

自由民主党 遠藤直弘 議員

- Q 国立市のPCR検査体制...
A 国立市医師会の協力を...
Q 国立市医師会の協力...
A 頂上設置した。病院での...
Q 希望者がPCR検査を受け...
A 検査の精度が7割とい...
Q 希望者がPCR検査を受け...
A 検査の精度が7割とい...
Q 希望者がPCR検査を受け...
A 検査の精度が7割とい...
Q 希望者がPCR検査を受け...
A 検査の精度が7割とい...
Q 希望者がPCR検査を受け...
A 検査の精度が7割とい...
Q 希望者がPCR検査を受け...
A 検査の精度が7割とい...
Q 希望者がPCR検査を受け...
A 検査の精度が7割とい...
Q 希望者がPCR検査を受け...
A 検査の精度が7割とい...



障がい者が新型コロナに感染した場合の対策を急げ！

社民・ネット・緑と風 古濱薫 議員

- Q 障がい者が新型コロナに...
A まずは学活を行い児童...
Q 障がい者が新型コロナに...
A まずは学活を行い児童...
Q 障がい者が新型コロナに...
A まずは学活を行い児童...
Q 障がい者が新型コロナに...
A まずは学活を行い児童...
Q 障がい者が新型コロナに...
A まずは学活を行い児童...
Q 障がい者が新型コロナに...
A まずは学活を行い児童...
Q 障がい者が新型コロナに...
A まずは学活を行い児童...
Q 障がい者が新型コロナに...
A まずは学活を行い児童...
Q 障がい者が新型コロナに...
A まずは学活を行い児童...
Q 障がい者が新型コロナに...
A まずは学活を行い児童...
Q 障がい者が新型コロナに...
A まずは学活を行い児童...



誰一人取りこぼさない 市政運営を！

日本共産党 住友珠美 議員

- Q コロナ禍で、ゆとりを...
A 原則は学習指導要綱の...
Q コロナ禍で、ゆとりを...
A 原則は学習指導要綱の...
Q コロナ禍で、ゆとりを...
A 原則は学習指導要綱の...
Q コロナ禍で、ゆとりを...
A 原則は学習指導要綱の...
Q コロナ禍で、ゆとりを...
A 原則は学習指導要綱の...
Q コロナ禍で、ゆとりを...
A 原則は学習指導要綱の...
Q コロナ禍で、ゆとりを...
A 原則は学習指導要綱の...
Q コロナ禍で、ゆとりを...
A 原則は学習指導要綱の...
Q コロナ禍で、ゆとりを...
A 原則は学習指導要綱の...



現状に合った制度と支援を

立憲民主党 稗田美菜子 議員

- Q BCGの公費接種を、...
A 11市において協定があ...
Q BCGの公費接種を、...
A 11市において協定があ...
Q BCGの公費接種を、...
A 11市において協定があ...
Q BCGの公費接種を、...
A 11市において協定があ...
Q BCGの公費接種を、...
A 11市において協定があ...
Q BCGの公費接種を、...
A 11市において協定があ...
Q BCGの公費接種を、...
A 11市において協定があ...
Q BCGの公費接種を、...
A 11市において協定があ...
Q BCGの公費接種を、...
A 11市において協定があ...



一般質問 要旨・発言順

重篤化し易い高齢者等の施設 従事者にPCR検査実施を

公明党 小口俊明 議員



Q 4市連携で設置のPCR検査センターの状況は。

A 89名の市民が検査を受け陽性者は3名であった。その後は、現在のマニュアルを使用する。

Q 重篤化し易い高齢者、しよがいしよの施設及び医療機関の従事者に、定期的に公費でPCR検査を実施できないか。

A 有効だが、関係者は約1千500人で費用は3万円で、市単独では難しい。都の動向を見ていく。

Q プレミアム付商品券の状況について。

A 商工会により、総数1万冊1億3千万円が完売消費誘引につながった。

Q 風水害を想定した避難所運営マニュアル作成の進捗について。

A 地震と風水害の違いは、初動対応。風水害の初動マニュアルを作成した。

Q 透明プラスチックの回収ボックスを、市内小売店舗に設置できないか。

A 透明プラスチックトレイは、食品トレイに分類している。エコショップ認定店にアンケートを実施し、進めていきたい。

Q 矢川北アパートの新規募集は、従前居住者の理解を得ているか。

A 従前居住者の転居希望に応じた上で、残った住戸に募集をかけている。

感染症・パンデミックを招く 生物多様性の喪失と気候危機

社民・ネット・緑と風



Q 国立市も生物多様性戦略づくりを急ぐべきでは。

A 来年度改定の緑の基本計画に盛り込みたい。

Q 国立市も環境省呼びかけのゼロカーボンシティ(50年にCO2排出ゼロ)を宣言し、実効的な気候変動対策をどうするか。

A 23年アクションプラン中間見直し時に、国や都の動向を踏まえ検討する。

Q レジ袋有料化にあわせ、各市共通のごみ有料袋をレジで販売してはどうか。

A 国立市の有料袋のバラ売り店舗を増やしたい。

Q 市役所の電力について、再生エネ比率の高い電力を入札契約できないか。

A 11月から本庁舎を再工100%電力に切り替える。

Q 旧国立駅舎の東西のJR用地が取得できれば、①旧駅舎東側の屋根部分の復原、②旧駅舎にない公衆トイレの設置が可能になるのではないか。

A 3月にJRと市有地の土地交換の方向性を確認したので、①下屋風のシェルターも可能性としてある。②景観等を考慮しつつ検討していきたい。

他、官製ワーキングプア、低賃金調理員(大半がパートで女性で国立市民を拡大しないための、給食のPFI民間委託案件)についてを質問。

コロナ禍で孤独を感じる高齢者 に的確な支援と励ましを!

公明党 香西貴弘 議員



Q 従来の対面形式による「高齢者世帯調査」に代わる郵送によるアンケートを実施する際は、困り事や相談を気軽に記入でき、元気づけられるような工夫を凝らした上で実施することができないか。

A どのようにすれば、実現可能か重ねて検討する。

Q 身近な児童遊園等を地域のニーズや時代に合わせた内容に変え、有効に活用される場へと変えるべきときではないか。

A 公園施設長寿命化計画を、昨年度より策定中。地域や時代のニーズに合わせた活用を、総合的に今後検討していきたい。

Q 災害時での被災者生活再建に必要な罹災証明書の発行について、日頃から準備は整っているか。

A 関係部署での罹災証明書発行訓練や都の被災者生活再建支援システム研修への参加、実際に被災した自治体へ職員を派遣するケースもあった。

Q 旧駅舎から望む大学通り、大学通りから見る旧駅舎。その優れた景観を確保できるように、円形公園を整備すべきでは。

A 国立駅前には優れた眺望景観を持つ視点場である。その施設整備では、市民の声を聴きつつ、眺望景観に十分配慮していきたい。

縦割りを外し、市民・産業・ 行政の連携を強化するべき!!

自由民主党 高柳貴美代 議員



Q 「くにたちひとこえプロジェクト事業」のように縦割りを外し、福祉施策と商工業振興策を連携させた事業を、今後、さらに模索すべきと考えるが、当局の考えを問う。

A これまで福祉と商工業の連携は難しいと考えていた。今回の成功例をもとに今後、連携事業を模索して参りたい。

Q 福祉の視点から考えると公助には限りがある。地域が活性化し、自助、共助を強化する必要はある。一方、商工業振興の視点から考えると地域内における経済循環を高め、地域経済の活性化を図ることは必要不可欠であり、今後、商工業振興策と福祉施策の連携は多大な効果をもたらすと考える。連携を促すための施策としてプラットフォームが、当局の考えを問う。

A 必要不可欠であり、今後、商工業振興策と福祉施策の連携は多大な効果をもたらすと考える。連携を促すための施策としてプラットフォームが、当局の考えを問う。

Q 商工会が新たなプラットフォームを導入するところの状況になれば、1つの選択肢となると考える。その他の選択肢やコスト等も含めて、商工会とも情報共有してまいりたい。他、高齢者支援について、子育て支援についてを質問。

コロナ禍に挑戦し 負けないための子育て支援を

公明党 青木淳子 議員



Q 発達しよがいのお子さんを持つ、親支援のためのペアレントメンターの導入を問う。

A 令和4年度に開設される幼児教育センターでペアレントメンターの育成を進めていきたい。

Q LINEを活用した子ども相談の構築を問う。

A 専門の相談員を確保し、大学生等の有償ボランティア等の活用を検討する。

Q コロナ禍における新生児への支援を問う。

A 感染予防を徹底した上、直接訪問や面談と共にビデオ通話で相談を実施している。

Q きずなメールの導入を問う。

A 導入自治体に連絡をとり状況を確認中。導入に向けた検討を行っていく。

Q 特別定額給付金に漏れた4月28日以降の新生児への独自給付を問う。

A 財源となる地方創生臨時交付金は予算上、支援事業にほぼ充当した。他の自治体の動向等を注視して検討する。

Q おくやみコーナー設置の検討を問う。

A 国立市行政改革プランの取り組みである総合窓口の設置と併せ、積極的に活用を検討する。

他、包括的相談支援や産後ケアなどの現状を質問。

手続き面倒なマイナポイント 市は、全面支援はしない

社民・ネット・緑と風



Q マイナンバーカードを取得すれば赤子まで一人5千ポイントのマイナポイントが簡単にもらえるように宣伝しているが、実際は手続きが大変面倒である。家族全員のマイナンバーカードと、全員がマイキーIDが必要で、さらにキャッシュレスサービスとの連携手続きが必要なのではないか。

A その通りである。マイキーID取得までは、市で支援するが、キャッシュレスサービスとの連携は自分でやってもらう。

Q 市報でマイナポイントの宣伝をするのであれば複雑な手続きがあること

Q マイナンバーカードを取得しただけでは、ポイントが付与されないことを詳細に書くべきである。

A ポイント獲得のために、マイナンバーカードを作りましたという宣伝はしない。

Q 職員による個人情報不正アクセスがあったが、経過とその後の対策は。

A 非常勤職員に発生したことを大変重く受け止めており、アクセスログは全て保存されていて、今後、懲戒処分になることを周知徹底していく。

Q 研修資料を、図解入りでわかりやすくすべき。

A 事例の掲載を行う。

新型コロナウイルス感染症を 見据えた避難所運営を

社民・ネット・緑と風



Q 災害発生時、新型コロナウイルス感染症を見据えた避難所運営をどのように考えているのか。

A 発熱者は、一般の避難者とゾーンと動線を分ける。可能な限り個室とし、専用のトイレを確保したい。個室を確保できないときは避難用テントを活用したい。新型コロナウイルスの疑いがある方が発生した場合の対応については、都や医師会と協力体制を整備したい。

Q 段ボールベッドの購入は考えていないのか。

A 段ボールベッドは、低体温症の防止になったり、足音や振動が伝わりづらく、睡眠の質を確保できると考えるが、備蓄スペースがないため、購入の予定はない。

Q ペットとの同行避難はできるようなったのか。

A 今年の風水害が発生したときから同行避難できるようにした。主に学校の昇降口が飼育スペースだ。ケージに入れて、ペットと一緒に過ごすことも可能だ。

Q 公共施設の省エネルギー・創エネ対策は。

A 矢川プラスタと国立二小が直近の建築物になる。太陽光パネル、自然採光、複層ガラスや高断熱化を検討するも決定はまだだ。

コロナ後はどうなる?

新しい議会 藤江竜三 議員



Q 新型コロナウイルスの影響を受け、来年度予算の見込みはどうなっているか。また、臨時交付金の使い方についての考え方を問う。

A リーマンショックの翌年度は歳入が3.4億円個人市民税が減少している。GDPの減少率はリーマンショック以上となっている。令和3年以降に臨時交付金があった場合には、できるだけ市の政策を将来に向けて推進するように予算化したい。

Q 経常事業の見直しが必要になると考えるが、コロナの影響を受け市がどうなっていくと考えるか。

A 国全体の動向や、国立市の税収の動向などを総合的に判断する中で、国へ要望したり、自分たちのせい肉を落としたりして進めながら、市民、中小事業者を支え、国立市の魅力を持続発展させ続けることを考え、予算等を組み立てていく必要がある。

Q 公共で看板及び貼り紙をする際には、不要な看板の乱立を防ぐため、設置年限をあらかじめ決めておくべきではないか。

A 今後、設置年月日や設置期間を把握して、公園の環境美化に努めたい。道路については、数年おきに調査をする。

一般質問 要旨・発言順

一般質問とは、議員個人が市政全般について行政当局（市長や教育委員会など）に質問することです。一般質問発言順に、各議員本人が要旨をまとめたものを掲載しています。

公共の真価が問われている 「コロナ・学校給食・都計道」

耕す未来@くにたち

小川 宏美 議員



Q 社会福祉協議会でPCR陽性者が出たのに、10日間も報告がなかった。高齢者の利用も多く、学童も隣接していて心配の声が多く寄せられた。保健所のない国立市の悪い面が出たのではないかと。A 判断した時点で、当事者が法人に連絡するように法人に働きかけていく。

Q 都は高齢者施設の職員と入所者にPCR検査を始める方針を出したが、在宅介護サービス利用者やスタッフも検査を受け易い体制が待たれている。A 在宅を支えるのが市の柱だ。重要視していく。

Q 新学校給食センター委

問題ある「国立新書創刊準備号」、検証の再考せよ！

こぶしの木 上村 和子 議員

Q コロナ禍の女性支援は。A コロナ禍で相談は倍増。支援団体の支援を進める。

Q しょうがいしゃの入院時の介助者付き添いに困難な状況が生じていることについて市の対応は。A 国がコロナ禍の中でもしょうがいしゃの介助者付き添いは認めている。当事者の相談に応じ対応。

Q 要介護高齢者の支援は。A コロナ対応ができる医療・介護・福祉専門職チームの編成を検討する。

Q GIGAスクール構想と5Gの健康被害は。A 国立市では各教室まで有線つなぐので5Gを使わないが健康問題につ

託料は43億円（PFI試算）と説明を受けてきた。今回、62億円で提案されているが、議会軽視も甚だしくないか。

A 工事単価や必要な食数を修正した。

Q 建設地は洪水ハザードマップ3m浸水地域だ。盛土50cmで安全は守られるのか。浸水した場合、給食は停止し、施設も損害を被る。どう考えるか。

A 設備を高所に持つて行くなど、業者からの提案も待っているところだ。

他、自然の宝庫・矢川をまたぐ都計道3・3・15号線、負担の重い南武線立体交差事業の見直しを質問。

コロナ対策で抜本的なPCR検査を。待機児童対策で質問

日本共産党

高原 幸雄 議員



Q 日本共産党は、7月下旬に、新型コロナウイルス感染が急拡大する中で、感染震源地を明確にし、その地域の住民・在勤者全体に対して、PCR検査を実施することなど政府に申し入れた。市として、対策はどうするのか。

A 市内の保育園・幼稚園・学童保育に勤務する職員は千人を超えている。PCR検査1回当たりおよそ3万円ほどの費用がかかる。市単独では非常に難しい。

Q 現在の待機児童対策について現状をどう分析し、認可保育園の増設計画をどう考えているのか。

A 4月の待機児童は、旧定義で75名、新定義で27名となっている。待機児童数の減少や出生数の減少を考えると、慎重な判断が求められる。既存園との意見交換を行い、整備の有無を判断する。

Q 保育内容の質的向上をはかるためのガイドラインの検討は。

A 国立の公立保育園での保育の実践集として関係者に配付を考えている。

Q 富士見台団地の建替えは住民の声を無視して進めるべきではないと思うがどうか。

A 住民の声を聴く。他、南武線高架化も質問。

今後の市政運営について市長に問う

自由民主党 青木 健 議員



Q 今後の市政運営に対する永見市長の考えは。

A 今後の市政を是非担って行きたいと考える。そこで、コロナ禍という困難な状況乗り越えるため一つは徹底して市民生活を支える。二つ目として市内事業者が活力を持つて事業を営んでいただけの環境をつくる。三つ目として、コロナ禍だからこそできる国立の良好な住環境や都心部にはない自然環境をアピールするチャンスであると認識し、集客性や居住性を高めていく施策を展開する。

Q 市長の南部地域整備に対する考えは何か。

A 南部地域に残された自然を守りながらも住居地域としての利便性を高めるための投資として、南武線の立体交差事業を始めとする生活基盤の整備や安全で安心な道路環境整備を着実に進め、南北格差是正に努めたい。

Q 国立市中小企業振興基本条例第4条「市の責務」は達成できているのか。

A 条例制定当時7千万円であった予算も現在は2億円に迫る額とし、事業件数も2倍以上とするなど、国立市を支える重要な担い手としての発展を促進してきていると考

国立市議会 意見交換会



令和2年国立市議会意見交換会において、皆さまからいただいたご意見を、市長へ手渡しました



意見交換会当日の様子

意見交換会当日は、たいへん多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。(開催日：令和2年2月7日(金)、8日(土))

皆さまからいただいたご意見は、委員会ごとに報告書にまとめ、市長へ手渡しました。

報告書の詳細は、右QRコードより市議会ホームページをご覧ください。



11月開催の「国立市議会意見交換会in農業まつり」中止のお知らせ

国立市議会では、例年11月頃に行われる国立市農業まつりに合わせ、意見交換会を開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点等から、第43回国立市農業まつりが中止となったことを受け、国立市議会としても11月開催予定の意見交換会を中止することに決定いたしました。

今後、意見交換会の開催が決定した際には、詳細を市議会ホームページ等でお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する市の取組状況について報告がありました 【各常任委員会】

こんな質疑がありました

総務文教委員会

Q 今回行った新型コロナウイルス感染症対策の振り返りは、どういった目的で行ったのか。

A 国立市新型インフルエンザ等対策行動計画において、対策の振り返りを行う記載があり義務付けている。この先に備えていくという意図である。

Q 100個以上課題があり、どう解決するかが重要。今後どう解決していくのか。

A 各部署において、実績と課題を抽出し、各部署、また健康危機対策本部でもんでいく。

Q 今回の報告資料について、ホームページ等で出すことを検討しているか。

A 資料自体は公開しており、こういった課題を基に、BCP(業務継続計画)の見直しも進めているところである。

建設環境委員会

Q PCR検査体制支援事業で、国立市医師会への補助金を交付とあるが、トータルで現在いくらになるか。

A 補正予算額で1千万円である。
Q PCR検査の陽性者が30名とのことだが、その内訳は。

A 7月頃まではどの年齢層も同じくらいだったが、8月に入ってから20代、30代の方が増えている状況。家庭内感染が大きな課題になっている。

Q 若い人が増えてきていると、傾向として言われているが、国立市で陽性者になって退院した人は。

A 東京都のデータだが、30名の陽

性者のうち26名の方が、すでに療養が完了している。4名が入院、もしくはホテル療養である。
Q 事業継続支援金は、何件の申請数か。

A 最新の数字だと自粛対応支援金567件、事業継続支援金は72件。

Q 最新が72件で、テナント家賃支援も70件。これは、おおむね申請をさせていただいたと考えて良いのか。

A 伸びてきつても、自粛対応支援金ほどは来ていないので、これから個別に連絡をしていくところである。

Q 公園二丁の高まりとともに対応が急務となっていると書かれているが、懸念されている内容は。

A 夜遅くまで、集団で利用のある場合は、個別、具体的に対応している。感染拡大防止についても看板等で周知を行っている。

Q スティホームが長くなっていたということもあり、ごみが増加する要因になっている中で、作業者の感染リスクは高くなるのが挙げられる。どのような対応を行ったのか。

A 収集員の感染対策として、手袋・マスクの着用等、また、規定では2名以上乗車して作業するが、3名で効率を上げている。

福祉保険委員会

Q 今後、インフルエンザとコロナが同時に流行してしまった場合の対策は。

A 発熱者に対して、外来の在り方などを来週から本格的に、話し合いを進めたいと思っている。

また、高齢者インフルエンザ予防接種の乗り入れを可能にする協

定があるが、10月1日から実施できるように調整している。

そして、実負担なしという話があるので、準備を進めているところである。

Q コロナに関して、特に重症化率が高いとも言われており、症状としては大変似ているので、コロナかインフルエンザかわからないという状況が生まれてくると思う。予防接種をどうお知らせしていくのか。

A 今年は初めて外注し、フルカラーでも大きく印刷している。そちらを郵送させていただき周知に努めていく。

Q 振り返りにも書いてある「発熱外来の立ち上げ」は、国立市の病院で、コロナの検査とインフルエンザの検査を受けられる体制づくりが必要かと思っているが、どうか。

A 検査に関しては、方法論や検査キット、コロナとインフルエンザを同時に検査できる機器の発明など、変遷していくので、動向を注視しながら動いていきたい。

Q 学童保育所の運営について、学童保育所の指導員の精神的、肉体的負担などストレスが心配だと書いてあったが、職員体制の課題は解決できるのか。

A 今回、誰もが未経験のもので、今後災害等があった場合にも学童保育所だけではなく、市全体として職員の心のケアなどについて、どうしていくかを全庁的に議論した方が良いと個人的には思っている。

Q 学校との連携がうまく取れていないと感じた。教育委員会はどのように関わられるのか。

A 当初から、教育委員会や学校とは十分に連携を取っており、何か特別な事情があれば、いつでも協力をしていた。

Q 子育て支援で試験的にオンライン乳幼児子育て支援をやっていたことだが、今後も活用できそうなのか。

A 緊急事態宣言の頃から、新生児訪問や、赤ちゃん訪問、面接といったときに活用しており、現在も活用している。

Q PCR検査センターの1日の検査上限は何件か。
A 1日50件と聞いている。
Q メールやタブレットを用いた支援の継続について、今後どうなっていくのか。
A 子どもの生活支援事業については、学習支援事業を2カ所で行っているが、手指消毒等感染症対策をしながら対応している。

今後は、約3千500万円の減免決定を行っている。

Q 相談業務を請け負う会計年度任用職員を7月から採用したが、どのような相談が多いのか。

A 症状がある方からは、病院の問い合わせ、症状のない方からは、自分の感染症対策がこれで良いのかという問い合わせや、自費でPCR検査を受けたが、どこでやっているかといった問い合わせが多い。

Q PCR検査で妊産婦が安心を得ることは、大切だと思っている。国が妊産婦総合対策事業を組み、PCR検査を受ける費用助成が含まれると聞いているがどうか。

A 東京都で、分娩前のウイルス検査費用助成及び感染した妊産婦への寄り添い型支援事業を、9月10日から実施することでプレスリリースされた。

検査費用助成については、症状のない妊娠36週の方で受けた方については、一人上限2万円費用助成がされる。また感染した場合は、寄り添い型の支援を実施していく。

Q 一般質問の答弁において、クラスタ部会というのがあったと思うが、健康危機管理対策本部会議とは別に、どういう部会が開かれているのか。また記録や資料について公開の考えは。

A 市の対策をもんでいくような位置付けで運営部会を設けて措置している。また運営部会に関して、専門の団体と調整するような内容が上がってくる。記録や資料を逐一出すのが難しいということも出てくる。何らかの形で公開できる

よう検討していきたい。

Q 保健所からの情報提供について、情報の共有が現場では求められるのではないかとと思うが、どうか。

A 状況に応じて、対策を考えていかなければならず情報を貰いたいところがあった。必要に応じて求めていく。

Q 陽性者や濃厚接触者への訪問介護について、衛生資材の供給があれば行くという事業所があるとのことだが、具体的に何か。

A 具体的には、マスクやアルコール消毒剤、あるいは防護服が考えられる。

Q この検討は、実現できるように動いているか。

A 必要に応じて、しょうがいしゃ支援課、あるいは市の方で持っている物品の提供について、考えているところである。

Q 保健センターの情報班等の体制強化が必要とあるが、どのようなものをイメージしているのか。

A 情報班というのは今、特にない。ただ広報で情報収集したものを周知している。保健センターで、情報量が多く、特化した人員を設けたらどうかという思いがあった。市民にどう発信していくか。またどう情報収集し、整理するかが、課題だと認識している。

Q 保健センターの情報班等の体制強化が必要とあるが、どのようなものをイメージしているのか。

A 情報班というのは今、特にない。ただ広報で情報収集したものを周知している。保健センターで、情報量が多く、特化した人員を設けたらどうかという思いがあった。市民にどう発信していくか。またどう情報収集し、整理するかが、課題だと認識している。

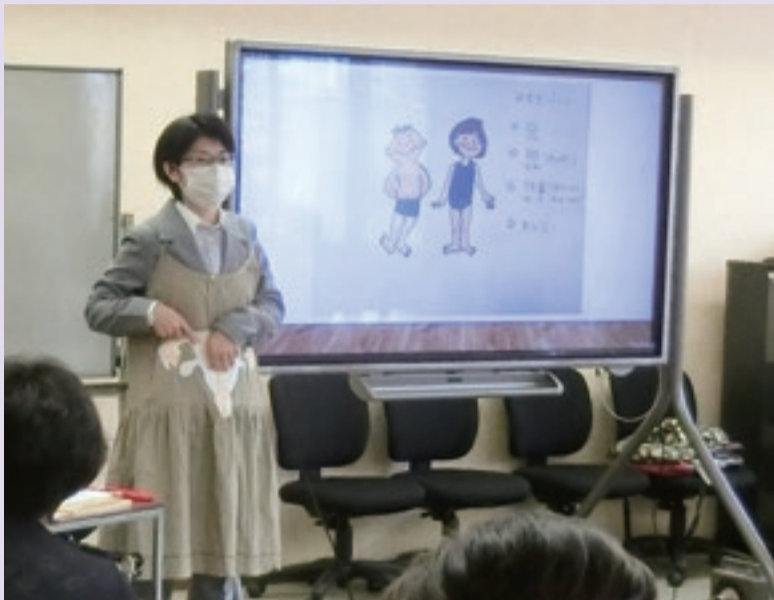
Q 保健センターの情報班等の体制強化が必要とあるが、どのようなものをイメージしているのか。

A 情報班というのは今、特にない。ただ広報で情報収集したものを周知している。保健センターで、情報量が多く、特化した人員を設けたらどうかという思いがあった。市民にどう発信していくか。またどう情報収集し、整理するかが、課題だと認識している。



『家族で学ぶ「いのち」のお話会』と題し、講演会を開催しました ～性のこと、カラダのこと。おうちで気軽に話せるきっかけづくり～

令和2年10月7日(水)、講師に野島美佳氏をお迎えし、『家族で学ぶ「いのち」のお話会』をテーマに、ご講演いただきました。



講師
野島 美佳 氏

助産師・看護師・保健師の資格を持ち、国立市を拠点に、訪問を専門に母乳・育児相談を行う。

- ▶この世に生を受けた全ての人に伝えたい、いのちの授業で伝えたいメッセージ
- ▶幼児期から性の話が必要な理由
- ▶子供の現状や問題点
- ▶幼児期から小学校低学年までに教えておきたいことなどについてお話いただき、デモンストレーションの後に質疑応答を行いました。



＼知ってる？／ 市議会あれこれ

～議員のお昼ごはん～



▲ 市役所地下1階の食堂

■議会開催中、議員は突然の招集に備えて昼食休憩中もなるべく近隣で過ごします。そんな議員達は、お昼ごはんをどうしているのでしょうか？調査してみました！

- 市役所地下の食堂に食べに行く
- 市役所地下の食堂から控室まで届けてもらう
- お弁当屋さんの配達を頼む
- 飲食店の出前を頼む
- 登庁前に購入しておく
- 手作り弁当を持参



■皆さん色々ですね！ちなみに地下の食堂はどなたでもご利用いただけますので、ぜひお立ち寄りください。混雑する時間帯は12～13時頃で、編集長のおすすめメニューはクリームソーダ(¥280)です！

[編集後記]

9月議会(第3回定例会)が終わると、厳しい暑さの夏も過ぎ、いつの間にか心地よい風が頬に当たる季節となっていました。

今回も6月議会(第2回定例会)に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、随所に工夫を凝らして行われました。また、感染症対策のための補正予算案をはじめ、全てが重要な議案・陳情でありましたので、十分に審議いたしました。

市民の皆さまのお声を市政に活かすべく、今後も細心の注意を払い、議会運営をしてまいります。

住所変更のお知らせ

柏木洋志議員(日本共産党)の住所が変わりました。

▶ 国立市東 1-17-5 クオリア国立 102

※各議員の住所等は、市議会ホームページに掲載しています。